

# スローライフだより 72

~Think globally, act locally~

第72号  
特定非営利活動法人  
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1  
TEL/FAX 0985-62-4233  
<http://www.slow-life.or.jp>



## 10月10日(月) 第23回 めがね供養祭



### 行事報告

- |     |     |                            |
|-----|-----|----------------------------|
| 8月  | 26日 | 生目の杜運動公園円形花壇植栽 (コスモス)      |
|     | 31日 | めがね供養祭第1回実行委員会             |
| 9月  | 9日  | 生目小学校5年生学習田稲刈り (コンバインにて稲刈) |
|     | 30日 | めがね供養祭第2回実行委員会             |
| 10月 | 10日 | めがね供養祭                     |



## 生目の杜運動公園 ボランティア斉清掃のお知らせ

日 時: 令和4年10月30日(日) 午前8:30~

集合場所: アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い 小雨決行(事前申し込み不要です)

新型コロナウイルス感染拡大防止のためにマスク着用をお願い致します。



## 不思議な縁



### 森本 雍子



十四、五年前になるだろうか。県立美術館において中国の方の主催する水墨画展が開かれていた。その日、南邦和先生と美術館に行ったのであったが何が目的であったのか、思い出せない。水墨画の一枚の掛軸から目が離せないのであった。中国でも一度は訪ねてみたいこの夢のような桂林の美しい流れに小さなつり船が一艘、その様な絵であった。

手持がなかったので迷っていたのを見られていた主催者の姚明先生が「いつでもよろしいですよ。お名前とご住所をどうぞ」と云われた。その私の名の「雍子」の字を見られて思わず「あ、その雍の字は昔の中国の皇帝の名にありますよ」と云われたのであった。その皇帝の名が「雍正帝」と言われ清朝国の三代目の皇帝だと言うのがわかり、年に一、二回福岡市在住の姚明先生と電話や携帯メールでのやりとりをするようになり、年を重ねてきたのである。

ところが本年(令和四年)の春三月の頃だったか「本年八月に宮崎で『日中交流書画篆刻と楽しみま書展』と言うタイトルで県立美術館で展覧会をすることにしました」という電話が入ったのである。

その展覧会を心待ちにしていたのだったがこの夏七月、私の不注意から自宅の板の間で滑り、右足膝下に十一針を縫う怪我をしてしまったのである。どうにか八月の開催日の八月三日～七日は、当初、毎日会場に伺はずだったが、結局五日と六日にしか行くことが、出来なかったのである。チラシをよく拝見すると「日中国交正常化50周年記念」とあり水墨画の姚明先生 また篆刻の馬景泉先生 日本からは地元高鍋町の堀内景子先生と仲間たちとある。この三人の先生方の気持ちがよく合っていたのだろう。落ち着いた雰囲気の会場であった。

展覧会終了後、二、三日して、姚明先生に電話を入れてみた。「今年は元田中角栄総理大臣と大平外相がそちら(中国)にお伺いしたのが1972年9月でした。当時の毛沢東主席と周恩来総理に会見し外交関係を樹立しました。いわゆる日中国交正常化の記念すべき50周年に本年が当たっているのですよね」と話しますと、姚明先生が明るい声で「そうですよ。こちら(福岡市)にある福岡総領事館に参り総領事と話をし、この様な展覧会等を通して相互関係を深めている」とこの様な話をされたと伺い感動したのであった。

馬景泉先生からは、もう少し中国を理解して欲しいと思われてか「人民中国ニュース」の本年の各月号が届き、人民中国の五月号を捲っていると「中国関係にひと言」として、東京都知事の池百合子さんは「昨年上野動物園ではパンダの双子『暁暁』と『蕾蕾』が誕生し、日本中がお祝いムードに包まれたこと。2匹の名前には、明るい未来に繋がる意味があること。このように日中両国が国交正常化50周年を機に友好関係を絶えず深め、より明るい未来を迎えるよう期待している。」と投稿されている。

今回の二ヶ国の美術展を来年もこの宮崎で開催されることになった様である。楽しみだ。

話し合う中で姚明先生は内蒙古出生、馬景泉先生と私は東北三省の一つ黒龍江省で出生と大きな広がりを感じている。お互い、日本人でもなく中国人でもなく、何でもわかり合える、深い繋がりは何か。

「不思議な縁」としか言いようがない。



第23回めがね供養祭



新型コロナウイルス感染拡大防止のためにめがね供養祭は、昨年に引き続き少人数で実施いたしました。ホームページや生目地区の回覧版でお知らせをしたり、宮崎市内のめがね店などに協力をお願いし、県内外から1073本のめがねが集まりました。

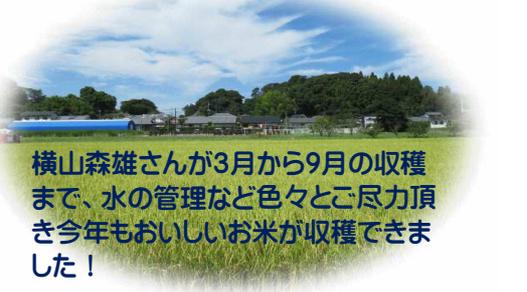
生目神社にも毎年たくさんのめがねが届いています。あつまっためがねは全て供養致します。またその中で使用できるものは汚れ等を拭きとり、きれいにして、ひとつずつ袋に入れて宮崎県ボランティア協会へお届けします。そこから、メガネボランティアを行っている団体に送られ、タイなどの住民に贈られます。異国の地でめがねを必要とする人たちの手に渡り、その方々に喜んでもらえたら良いとの思いで活動を続けています。

(1073本のうち使用可能なめがね465本を宮崎県ボランティア協会にお届けします。)



生目小5年生 学習田

生目小学校5年生と協働で行っていますお米作りですが、例年稲刈りは小学生と一緒に手刈りで行っていますが、新型コロナウイルス感染防止の為にコンバインでの稲刈りになりました。(令和4年9月9日に横山森雄さんがコンバインで稲刈)5年生の生徒さんは田植えに引き続き稲刈りも見学のみとなりました。収穫したお米(白米)115kgを、5年生の調理実習(15kg)や全校生の給食(30kg)で使って頂くためにお渡しし、残りは登下校の見守りのお礼として、生目地区振興会を通じて生目地区(5kg×14地区)のふれあい昼食会に使っていただくために生目小から贈呈されました。(白米380kg+玄米30kgの収穫)



横山森雄さんが3月から9月の収穫まで、水の管理など色々ご尽力頂き今年もおいしいお米が収穫できました!



生目小学校5年生より、心温まるお手紙を頂きました!

今日はいろいろ教えてくださいありがとうございます。

～いねかりの見学をして気づいた事～

いねかりをしたあとに落ちている草(藁)はそうりやしめなわに使える。機械は600万する。高いと1000万する。いねを育てるとき砂よりねんどのほうがおいしいお米ができる。



機械の横にかいてある数字にはちゃんとした意味がある。これ以外にもいろいろな事をたくさん教えてもらいました。いねかりはこんなことをするんだ。田植えはこんなことに工夫してるんだ。とよく分かりました。米作りは1年を通して頑張ってるんだと分りました。

これからもお米を大事にたべようと思いました。

(原文のまま)



8月26日に円形花壇と南駐車場南側出入り口(柏原側)市道沿いの花壇の植栽作業を行いました。順調に育っていますので、秋の気配が感じられる頃には色とりどりのコスモスが咲きほこることでしょう。

公園を利用される皆さんが癒されるような花壇づくりを常に心掛けています。



南駐車場南ゲート出入り口付近の花壇です。松葉ボタンとミニナデシコを植栽しています。

### お知らせ(収穫祭について)

市民農園利用者の方々の交流の場として、毎年11月頃に開催しておりました収穫祭(食事会)ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために残念ながら、今年も昨年同様に**中止**とさせていただきます。



### 生き生き市民農園利用者募集中

市民農園に空きが若干あります。ご利用になりたい方がいらっしゃいましたらご紹介ください。



#### 10月~1月の予定

\*新型コロナウイルス感染状況次第で予定は中止・変更になる可能性もあります。ご了承ください

- 10月30日 生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
- 12月上旬 生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
- 1月下旬 生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃



#### 委託業務関係

11月~1月		
毎月第1火曜日	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第2火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
※ 駐 車 場	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両誘導 (10:00~18:00)
※ 花 壇 管 理	随 時	

### 編集後記



前回編集後記で提案した「ふるさと生目二人展」~坂本正直,高橋和平~のその結果を報告します。7月29日の理事会に企画を提案し無事理事のみなさんの承認をいただきました。その後結果を実行委員会のメンバーに報告したのち、場所日程の調整に奔走、遊古館の永井館長 山口係長 文化財課の久米さん 市民活動課の高田さん等の協力を得、下記の通り決定しました。

記

- 名 称：ふるさと生目二人展 ~坂本正直,高橋和平~
- 日 程：2023年4月14日(金)~4月23日(日)  
13日展示作業 25日撤去作業 休館日4月17日(月)24日(月)
- 会 場：生目の杜遊古館 (入場無料)
- 時 間：9:00~16:30
- 協 賛：NPO法人スローライフ宮崎



前回2011年10月の「坂本正直展」の鑑賞者数1113名を上回ることを、そして坂本正直 高橋和平さんに続く後継者が私達のふるさと生目から一人でも良いから生まれることを願いながら全力で準備にかかりたいと考えています。ご協力ください。(長谷川) 10月14日